

平成16年度収支計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位:円)

科目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (B - A)	備考
(収入の部)					
会費収入		220,767,000	224,111,750	3,344,750	
事業収入		75,000	185,828	110,828	
雑収入		118,000	227,466	109,466	
固定資産売却収入		0	10,000	10,000	
敷金戻り収入		2,424,000	2,424,000	0	
特定預金取崩収入		17,522,000	17,522,670	670	
当期収入合計		240,906,000	244,481,714	3,575,714	
前期繰越収支差額		28,366,697	28,366,697	0	
合計		269,272,697	272,848,411	3,575,714	
(支出の部)					
事業費		154,138,000	149,240,736	4,897,264	
管理費		84,017,000	90,299,612	6,282,612	
特定預金支出		4,307,000	6,154,557	1,847,557	
退職給与引当預金支出		4,307,000	4,154,557	152,443	
40周年記念事業積立預金支出		0	2,000,000	2,000,000	
予備費		5,000,000	0	5,000,000	
当期支出合計		247,462,000	245,694,905	1,767,095	
当期収支差額		6,556,000	1,213,191	5,342,809	
次期繰越収支差額		21,810,697	27,153,506	5,342,809	

人件費等の共通経費(58,036千円)を管理費から事業費へ振替後の金額

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法について

その他有価証券で時価のないもの……移動平均法による原価法を採用している。

(2) 引当金の計上基準について

退職給与引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預貯金、仮払金、未収会費、前払金、未払金、前受金、仮受金、預り金を含めている。なお、前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

(4) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

		当期末残高
現金・預貯金	32,049,176	28,800,376
仮払金	387,709	172,198
未収会費	0	42,000
前払金	0	0
計	32,436,885	29,014,574
未払金	3,011,778	1,368,146
前受金	0	0
仮受金	0	0
預り金	1,058,410	492,922
計	4,070,188	1,861,068
次期繰越収支差額	28,366,697	27,153,506